

現代社会における鍼灸の存在を問う

第17回社会鍼灸学研究会

鍼灸のアイデンティティーを求めて～「商品化社会」における鍼灸～

あらゆるものが商品化される現代においては、医療も、鍼灸も、1つの商品であり、医療産業、鍼灸産業として、社会の一分野を形成する。

その構造は我々の普段の営為からは分かり難いが、現実には、むしろ、現代の経済構造の上に鍼灸という商行為が成立していると言えるであろうし、別の言い方をすれば、鍼灸は社会の中の様々な商品の1つとして売られ、買われている。本年の研究会はこのような観点から、商品化社会での鍼灸について考え、現代社会における鍼灸のアイデンティティーを探りたい。

2022年 9月18日（日） 13:00～16:00

社会的視点からの鍼灸研究者による研究発表会

2022年 9月19日(月・祝) 10:00～16:10

1. 「多元的医療システムと鍼灸学をめぐって」

村岡 清(岡山商科大学法学部 客員教授)

2. 「鍼灸の療養費と自由診療の現状」

南 治成(公益社団法人日本鍼灸師会 副会長 南心堂鍼灸治療室 代表)

3. 「フレアスの鍼灸の2つの取組」

澤登 拓(株式会社フレアス 代表取締役社長)

4. 「現代社会における鍼灸市場の需要検討」

浅石 祥吾(一般社団法人 全国統合医療協会 新規事業部 部長)

5. 「コミュニティ鍼灸師を目指して

～農的暮らしと師会活動と医療介護多職種連携の有機的結合を図る～」

小池 栄治(つくば草の根はりきゅう院 院長 つくば鍼灸マッサージ師会 会長)

6. 総合討論

Zoom開催。参加方法・会費などは右のQRコードから

